

母ヤギの乳を飲む子ヤギ。母ヤギは最初の2〜3日は免疫成分をたくさん含んだ乳を子ヤギに飲ませ、病気に対する抵抗力を付けさせる。6月22日、八ヶ岳中央農業実践大学校



6月上旬に生まれたヤギの赤ちゃん。次第に角が生えてきた=6月29日、八ヶ岳中央農業実践大学校

八ヶ岳山麓

ヤギ編

## 動物ふれあい日記

### 1 ヤギの赤ちゃんが生まれました

6月のある朝にヤギ舎を訪れると、2頭の母ヤギがそれぞれ双子を産んでいました。ヤギは双子をよく生みます。子ヤギは生まれるや否やすぐに立ち上がり、数分後には乳を飲み始めます。その間に母ヤギは声をかけてながら、子ヤギの全身の被毛をなめて乾かそうとします。そのたった5分程度で母ヤギは子ヤギをまづ二オイで、その後4時間以内に声や姿でも識別できるようにになります。子ヤギも母ヤギを同様に識別できるようになりますが1週間くらいかかります。ちなみに子ヒツ

ジは親を数時間で覚えます。ヒツジの母子関係は生後直ぐに母について歩く追従型ですが、ヤギは1週間ほど子を隠す置き去り型に対応しています。母ヤギは子ヤギに最初の2〜3日は免疫成分をたくさん含んだ乳を飲ませて、病気に対する抵抗力を付けます。でも体の弱い母子の場合には、寒さ・暑さなどの気象、タヌキなどの捕食獣、皆さんの靴などの汚染源から守ってあげる管理が必要となります。

佐藤衆介(さとう・しゅうすけ)

1978年に東北大学大学院農学研究科博士課程修了。80年から宮崎大学助手、88年から同大助教授を務める。94年に東北大学助教授に着任。2002年からは農業・生物系特定産業技術研究機構畜産草地研究所放牧管理部長。05年から東北大学大学院教授を務める。同大名誉教授。15年からは帝京科学大学教授。19年に八ヶ岳中央農業実践大学校(原村)の畜産部長となり、現在に至る。主な著書は「アニマルウェルフェア」(東京大学出版会、2005)など。



## 母子関係は「置き去り型」



ヤギの母子関係は1週間ほど子を隠す「置き去り型」。生後すぐに母について歩くヒツジの母子関係「追従型」と対照的=6月17日、八ヶ岳中央農業実践大学校



同校職員で、飼育担当の増田光彦さんは毎日、新鮮な草を与えてヤギの世話をしている。6月29日、八ヶ岳中央農業実践大学校